

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム なごみ岡垣作成日: 平成 26 年 03月 18 日

## 目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議を活かした取り組み	ホームが、地域の理解と支援を得るためには、運営推進会議の委員の方が、ホームを良く理解してもらい、ホームの発展のために、どのような活動をしていくかを検討してもらい、地域福祉の拠点づくりに挑戦していく。	会議のメンバーを増員し、会議が活発に活動できる体制を整え、ホームの運営や業務について、外部の目を通して検討してもらい、地域の高齢者や家族が、立ち寄って相談できる、心の拠り所になるように努力していく。	12ヶ月
2	37	災害対策	夜間の災害時には、夜勤者1人で、9人の利用者を、安全に避難させることが、いかに困難であるかを、職員一人ひとりが実感し、利用者全員を無事に避難させる方法を検討していく。	職員2人が、利用者と職員になって、全員を避難させる体験をして、目標タイムを設定し、少なくとも5分で、利用者9人を避難誘導出来るまで、訓練を続けていく。また、地域住民の協力体制を確立していくための、日常的な、付き合いを強化していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。